



株式会社

エービーエム

2018年度

環境経営レポート (ダイジェスト版)

2018年4月～2019年3月

発行日：2019年7月1日

豊かに快適な環境を求めて…



爽やかな笑顔、
真心のサービス



環境経営レポート部門



®環境省
エコアクション21
認証番号0011545

～ 目 次 ～

1. 社是・経営方針・環境方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p 2
2. 組織の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p 3
 - 2-1. 事業者名及び代表者氏名
 - 2-2. 事業所所在地
 - 2-3. 環境管理責任者及び担当者連絡先
 - 2-4. 創業（設立）年月日
 - 2-5. 資本金
 - 2-6. 認証・登録範囲
 - 2-7. 事業の規模
3. 環境目標とその実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p 4～15
 - 3-1. 環境負荷の現状（平成30年度環境負荷自己チェック結果より）
 - 3-2. 環境目標（単年度・中期）と達成状況
4. 環境活動計画と取組結果並びに次年度の取組内容・・・・・・・・ p 16
5. 指定管理施設の環境負荷について・・・・・・・・・・・・・・・・ p 18
6. 環境関連法規等の遵守状況、訴訟等の有無・・・・・・・・ p 19
 - 6-1. 適用となる環境関連法規等とその遵守状況
 - 6-2. 法令違反・訴訟等の有無
7. 代表者による見直しの結果・・・・・・・・・・・・・・・・ p 19
8. 環境コミュニケーションの取組・・・・・・・・・・・・・・・・ p 20～25

株式会社エービーエムは、エービーエムエナジー合同会社を設立し、太陽光発電による再生可能エネルギー事業を開始しました。（H27.9.24竣工）



平成20年に創立40周年を記念して植樹、米沢市に寄贈した「オオヤマザクラ」がちょうど10年経ち、大きく育っていました。

ゴールデンウィークに開催される「米沢上杉まつり」。伝統あるお祭りを盛り上げようと、今年も親睦会を中心としたメンバーで「上杉甲冑行列」や「川中島の合戦」に今年も参加協力しました。（H30年度は雨でした）





社 是

私達は、技術・知識の向上に努め
安全・安心・清潔のサービスをモットーに
快適な環境を社会へ提供します。

経 営 方 針

私達は お客様感動を達成します。
私達は 事故ゼロを継続します。
私達は 不祥事案を撲滅します。
私達は 環境方針を推進します。

環 境 経 営 方 針

環境理念

私たちは、ふるさとの豊かな環境を守り、持続可能な社会の実現を目指すため、環境マネジメントシステムの継続的な運用改善を図り、自らの環境負荷を可能な限り削減していくとともに、総合ビル管理、警備、指定管理等の業務を通じて、「安全・安心・清潔」に関する技術と真心サービスを提供しつつ、お客様の環境負荷の削減にも寄与してまいります。

環境行動指針

1. 環境関連法規等を遵守します。
2. 電力使用、化石燃料の消費に伴い発生する二酸化炭素を計画的に削減していきます。
3. 廃棄物を可能な限り削減するとともに分別を徹底し、リサイクル率の向上に努めます。
4. 節水に努め、水資源を大切にします。
5. 化学物質の使用量を削減していきます。
6. 社員のスキル向上により、業務の効率化を図り、他社との差別化を図ります。
7. お客様の環境負荷削減につながる提案を積極的に行い、可能な範囲で実践します。
8. 地域の環境保全活動に貢献します。

制定日:平成28年6月1日

最終改定日:令和元年5月1日

代表取締役社長 赤間俊明

2. 組織の概要



2-1. 事業者名及び代表者氏名

- 株式会社 エービーエム
- 代表取締役社長 赤間俊明

2-2. 事業所所在地

- 本社：〒992-0003 山形県米沢市窪田町窪田 584-2
- 南陽営業所：〒992-0472 山形県南陽市宮内 4641

2-3. 環境管理責任者及び担当者連絡先

- 環境管理責任者：企画・人事部部長 田口浩之
- 連絡担当者：業務部 部長代理 遠藤雅之
- 連絡先：TEL0238-37-5733 FAX0238-37-2822
- Email：m-endo@y-abm.co.jp

2-4. 創業（設立）年月日

- 1968年（昭和43年）9月

2-5. 資本金

- 1,000万円



2-6. 認証・登録範囲

1) 対象サイト：本社ならびに南陽営業所、指定管理施設

2) 事業活動：

警備業務（機械警備・常駐警備等）、清掃業務（日常清掃・定期清掃等）、ビル総合管理業務（設備管理・環境衛生管理等）指定管理業務

2-7. 事業の規模

事業規模	事業年度	平成27年度 (H27.4~H28.3)	平成28年度 (H28.4~H29.3)	平成29年度 (H29.4~H30.3)	平成30年度 (H30.4~H31.3)
売上高(千円)		733,376	773,711	791,260	826,570
認証対象従業員数/全従業員数		216/250	229/263	234/268	280/280
従業員数:本社		38	38	38	38
従業員数:南陽営業所		7	7	7	7
床面積(㎡):本社		303.9			
床面積(㎡):南陽営業所		101.8			

※売上高は、当社会計年度(4~3月)に合わせて集計しています。従業員数は各年度4月時点での在籍数です。従業員数には、業務受託現場に直行直帰する従業員は含まれていません。



3. 環境目標とその実績 (本社及び南陽営業所)



3-1. 環境負荷の現状(平成30年度環境負荷自己チェック結果より)

■ 二酸化炭素排出量

※電力使用に係る二酸化炭素排出係数については、H28年度東北電力(調整後:0.548)を用いています。

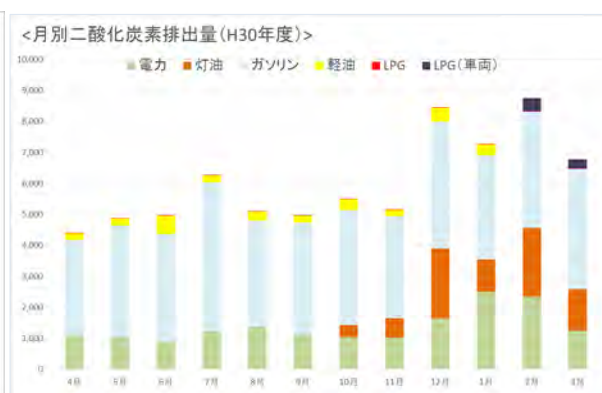
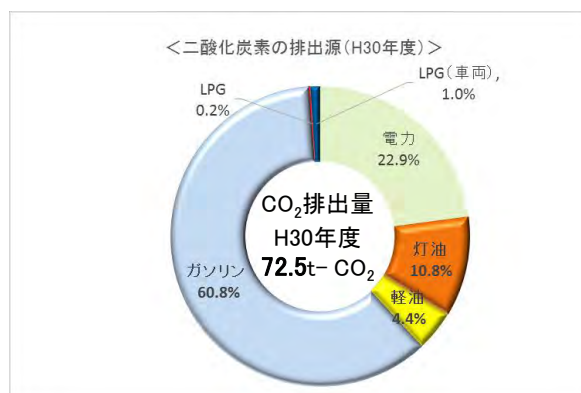
1) 当社における平成30年度のCO₂排出量は合計72,524kg-CO₂となっており、前年度比5%削減しました。これは平均的な一般家庭16軒分の排出量に相当します。(平成29年度1世帯あたりの平均年間排出量は4,480kg-CO₂: 出典: 温室効果ガスインベントリオフィス)

2) 当社から排出されるCO₂の66%はガソリン・軽油・LPG(車両用)の消費によるもので47,958kg-CO₂(前年比0.9%増)、次いで電力の使用に伴うものが22.9%、16,605kg-CO₂(同13.9%減)、灯油の消費に伴うものが10.8%、7,845kg-CO₂(同16.0%減)などとなっています。

3) ガソリン、軽油は、業務用車両の運行に伴い消費し、電力は事務所の照明、冷暖房、消雪用井戸ポンプの稼働で使用しています。また、灯油は冬期間の暖房用、LPGは事務所給湯用となっています。

4) 月別のCO₂発生量は12月~3月の冬期間(降雪期)に多くなっています。これは、灯油消費量の増加と消雪ポンプ稼働に伴う電力使用量が増加するためです。H30年度はH29年度に比して、暖冬だったことから灯油・電気の使用量は減っています。ガソリン・軽油は、月による変動にあまり特徴はありません。なお2月に軽油車両1台を環境負荷の少ないLPG車に交換し、軽油車両はなくなりました。

5) 以上のことから、特に車両運行に伴うガソリン・LPGの削減ならびに冬期間の暖房に伴う灯油、消雪用ポンプ稼働に伴う電力使用の削減などが重点課題となります。



■ 廃棄物排出量

- 1) 一般廃棄物: 可燃ごみ、紙類(資源回収対象)などは、行政の分別ルールに従い、本社・南陽それぞれ、量を把握した上で排出しています。可燃ごみが最も多く、本社435kg、南陽148kg、次いで紙類(再生資源)が本社241kg、南陽139kgなどとなっていました。なお、リサイクル率は本社37.8%、南陽48.4%となっていました。
- 2) 産業廃棄物: 汚泥(ワックス剥離液・洗剤廃液等)が大部分で全体の70.1%(1,321kg)を占めています。その他の廃棄物については、乾電池以外、管理受託現場から排出されたものとなります。

■ 総排水量(水使用量)

本社・南陽ともに融雪用に地下水を利用していますが、量は把握できません。水道は、すべて生活用水となります。本社、南陽合わせて、484m³使用しました。前年比14.1%削減しました。なお、放流先は本社は公共用水域(浄化槽)、南陽は下水となります。

■ 化学物質使用量(購入量)



清掃業務に使用する洗剤、剥離剤等にPRTR成分を含有しているものがあります。H30年度分の使用量は、2-アミノエタノールが3.6kgでした。



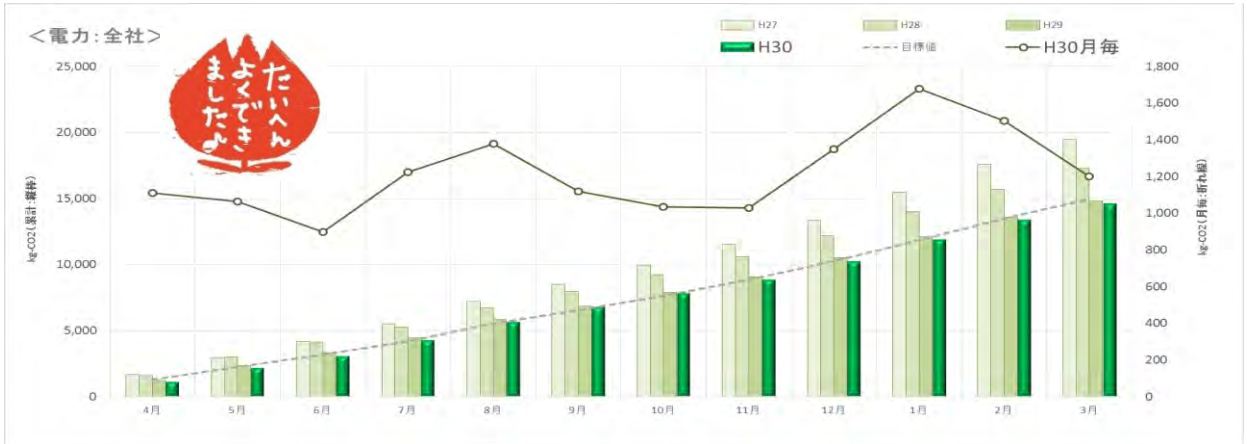
3-2. 環境目標（単年度・中期）と達成状況

環境経営方針との整合性を図りながら、環境負荷の自己チェックの結果を踏まえ、7項目（二酸化炭素、廃棄物、水、化学物質、グリーン購入、製品・サービス関連、山形エコアクション21対応項目）について、環境目標（単年度目標&5年間中期目標）とその達成に向けた活動計画を策定し、取組を行いました。達成状況は下記のとおりです。

■ 二酸化炭素排出量（電力）

【H30年度目標】 H27年度比23%削減
 【中期目標（H28～32）】 H27年度比23%削減を維持

※冬期間、本社の消費用地下水揚水ポンプに使用する電力については、積雪量によって大きく変動することから、数値目標の対象としていません。



【取組結果】（取組期間：H30.4～H31.3）

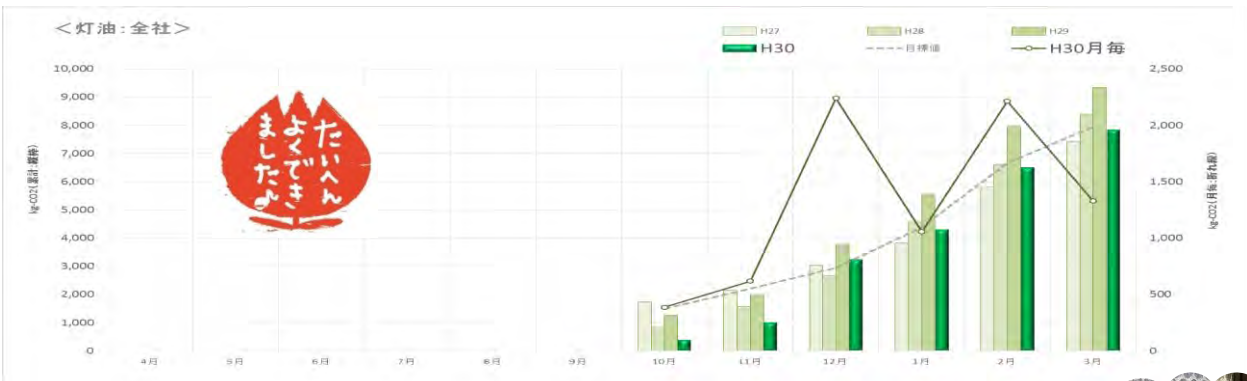
- 基準年度実績：19,491kg-CO₂
- 取組期間目標：14,945 kg-CO₂
- 取組期間実績：14,590 kg-CO₂
- 増減量：-4,901 kg-CO₂
- 増減率：-25.1%

【評価コメント】

本社22.0%減、南陽41.3%減と本社はぎりぎり目標には達しませんが、その分南陽が大幅な削減となったため、全社としては目標をクリアできました。従業員の環境に対する意識の変化が見られ、省エネ活動が浸透してきたことや、平成29年度から実施している窓に緩衝材を貼ったことと、暖冬の影響で電力使用量を抑えることができました。

■ 二酸化炭素排出量（灯油）

【H30年度目標】（本社）28年度比6%削減（南陽）27年度比22%削減
 【中期目標（H28～32）】（本社）28年度比10%削減（南陽）27年度比24%削減

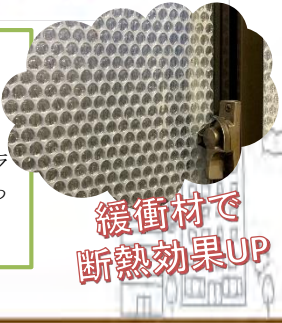


【取組結果】（取組期間：H30.4～H31.3）

- 基準年度実績：
 （本社）6893 kg-CO₂（南陽）1,886kg-CO₂
- 取組期間目標：7,950 kg-CO₂
- 取組期間実績：7,845 kg-CO₂
- 増減量：-555 kg-CO₂
- 増減率：-6.6%

【評価コメント】

本社10.2%減、南陽12.4%減となり、目標を達成することができました。平成30年度は暖冬だったこと、暖房器具の撤去などで灯油使用量を意識して抑えることができました。また、ガラス面に貼った緩衝材によって断熱効果が高まったことが考えられます。



■ 二酸化炭素排出量（ガソリン）

【H30年度目標】 H29年度比1%削減
 【中期目標（H28～32）】 H29年度比3%削減



【取組結果】（取組期間：H30.4～H31.3）

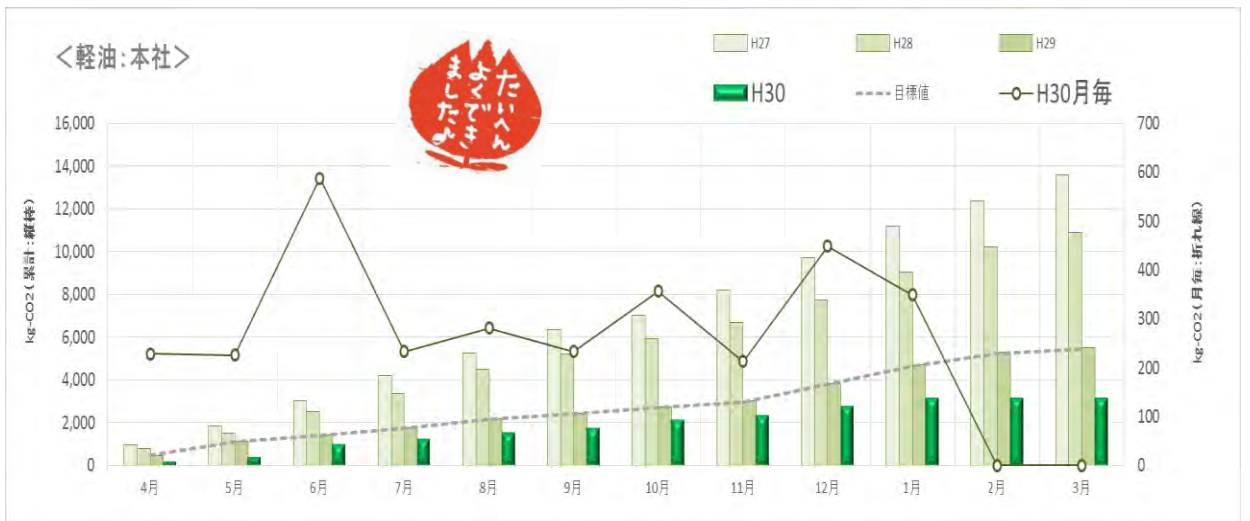
- 基準年度実績：37,072 kg-CO₂
- 取組期間目標：33,286 kg-CO₂
- 取組期間実績：41,558 kg-CO₂
- 増減量：+4,486 kg-CO₂
- 増減率：+12.1%

【評価コメント】

本社+5.2%増、南陽+10.5%増と両サイトともに目標を大きく下回ってしまいました。原因と考えられるのは、5月に軽油車両1台をガソリン車両に入れ替えたこと、営業好調につき業務車両を使用する機会が増え、走行距離が昨年度と比べて増えたことが考えられます。（+7,685km）。

■ 二酸化炭素排出量（軽油）

【H30年度目標】 H29年度比1%削減
 【中期目標（H28～32）】 H29年度比3%削減



【取組結果】（取組期間：H30.4～H31.3）

- 基準年度実績：5,501kg-CO₂
- 取組期間目標：5,446kg-CO₂
- 取組期間実績：3,157kg-CO₂
- 増減量：-2,344kg-CO₂
- 増減率：-42.6%

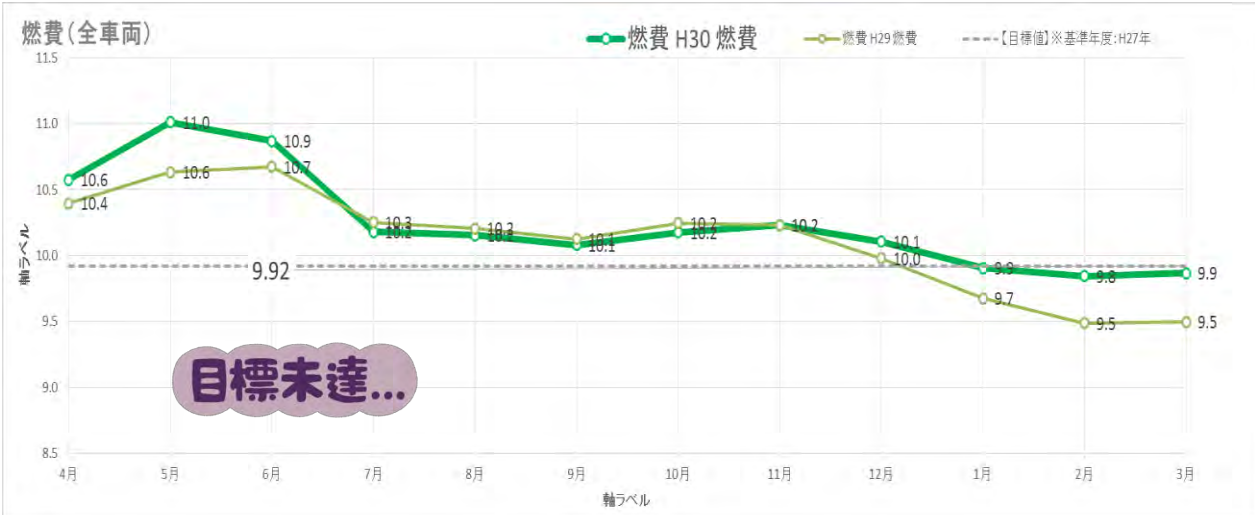
【評価コメント】

平成29年度の車両の入れ替えにより、本社のみを取組となりましたが、結果大きく目標を達成することができました。6月は業務量が増加し使用量は増加しましたが、2月に車両入れ替えによって軽油車両からLPG車にすることで、軽油使用がゼロになりました。

燃費



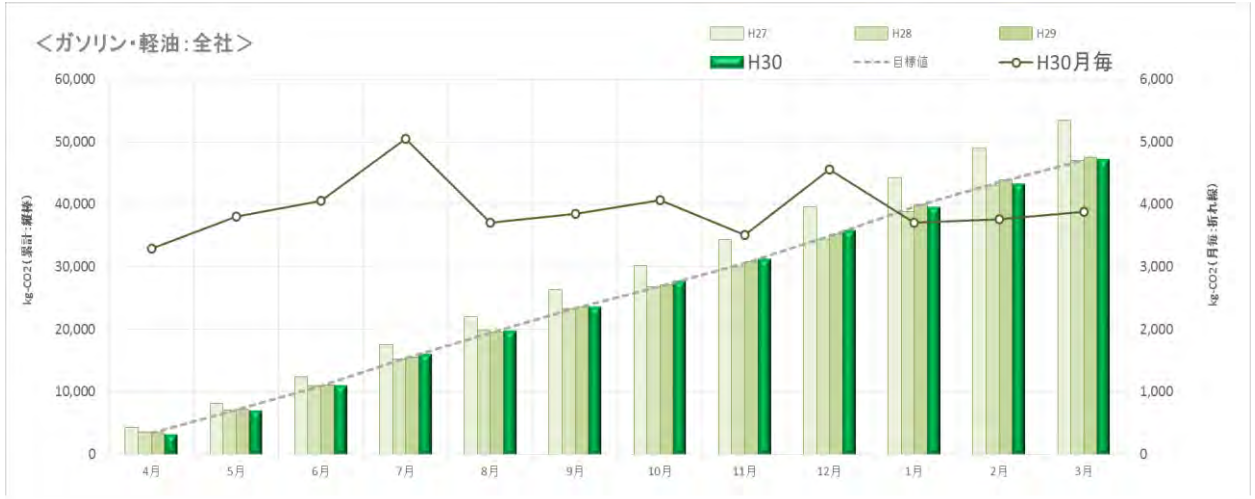
【H30年度目標】 基準年度燃費を18%向上
 【中期目標 (H28~32)】 基準年度燃費を20%向上



目標未達...

【取組結果】 (取組期間: H30.4~H31.3)
 ■ 基準年度実績: 8.41 k m/L
 ■ 取組期間目標: 9.92 k m/L
 ■ 取組期間実績: **9.90 k m/L**
 ■ 増減量: +1.5 k m/L
 ■ 増減率: +17.3%

【評価コメント】
 昨年度と比べると燃費は向上しましたが、目標は達成することができませんでした。エコドライブの意識が高まってきているが、前半、猛暑の影響でエアコン使用回数が増えました。一方後半は普通車から燃費の良い軽自動車に入れ替えたことと、暖冬もあって燃費は向上しました。ガソリンと軽油の全車両のCO₂排出量は、下のグラフのとおり、若干減らすことが出来ました。



社有車 E-1GP 2018-2019



順位	種別	登録年月	車両担当者	H30年度獲得ポイント	H30年度燃費
1位	日産ティヴァ	平成27年2月	業務部 今井部長	47pt	15.32km
2位	スバルパトロール	平成17年5月	設備管理部 近野部長	30pt	13.61km
3位	トヨタ味のつくし	平成21年10月	企画・人事 田口部長	29pt	13.68km

■ 二酸化炭素排出量（LPG）

【H30年度目標】 H27年度比32.5%削減する
 【中期目標（H28～32）】 H27年度比10%削減する



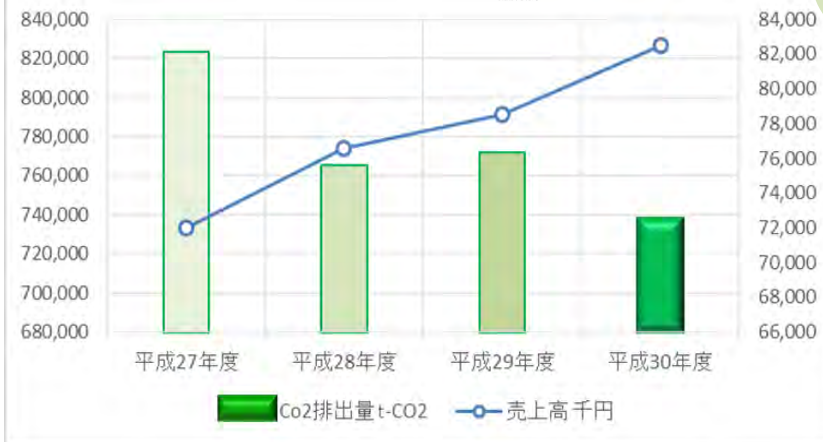
【取組結果】（取組期間：H30.4～H31.3）

- 基準年度実績：308.2kg-CO₂
- 取組期間目標：207.9kg-CO₂
- 取組期間実績：115.0kg-CO₂
- 増減量：-193.3kg-CO₂
- 増減率：-62.7%

【評価コメント】

本社53.4%減、南陽70.2%減となっています。両サイトともに給湯用での使用のみですが、夏場の使用は控え、温度設定を低くするなど対策を行いました。本社、南陽ともにガス給湯器の使用ルールを徹底し、大きく目標を達成することができました。

ちょっとフレイク その1 「売上高とCO2排出量について」



売上伸びているのは、主要な公共施設の管理を受注したからだっぺ。
 売上伸びているのに、Co2削減が出来ているのはすごいっぺ！



米沢市市民文化会館キャラクター「みっぺ君」



南陽市文化会館



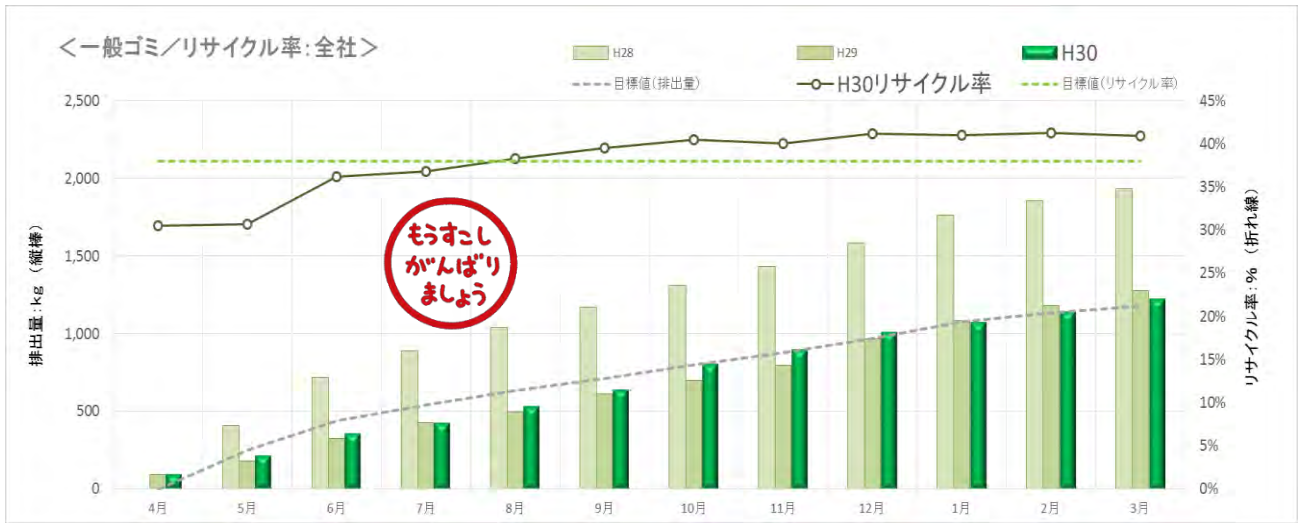
ナセBA



道の駅米沢

■ 一般廃棄物排出量

【H30年度目標】 H28年度比で排出量39%削減／リサイクル率12%向上
 【中期目標（H28～32）】 H28年度比で排出量39%削減を維持 リサイクル率14%向上



【取組結果】（取組期間：H30.4～H31.3）

- 基準年度実績：
 - 排出量 2,108kg (H28.4月は実績値を元に算定)
 - リサイクル率 30%
- 取組期間目標：排出量 1178kg リサイクル率39%
- 取組期間実績：排出量 **1,222kg**
リサイクル率**41%**
- 増減量：排出量 -886kg リサイクル率 +9%
- 増減率：排出量 -42%

【評価コメント】

排出量は本社859kg、南陽362kg、リサイクル率は、本社38%、南陽48%となり、排出量は目標は達成できませんでした。南陽営業所では駐車場に積み上げられていた草木を処分したこと、不要な書類を処分したことが排出量を上げたことが大きな理由と考えられます。一方リサイクル率はゴミの持ち帰りを推奨していることでゴミの排出量自体が減少しており、その分リサイクルゴミも排出量が減少しているが、書類などのゴミを排出したことでリサイクル率は向上しました。

■ 産業廃棄物排出量

【H30年度目標】 H27年度比36%削減
 【中期目標（H28～32）】 H27年度比36%削減を維持



【取組結果】（取組期間：H30.4～H31.3）

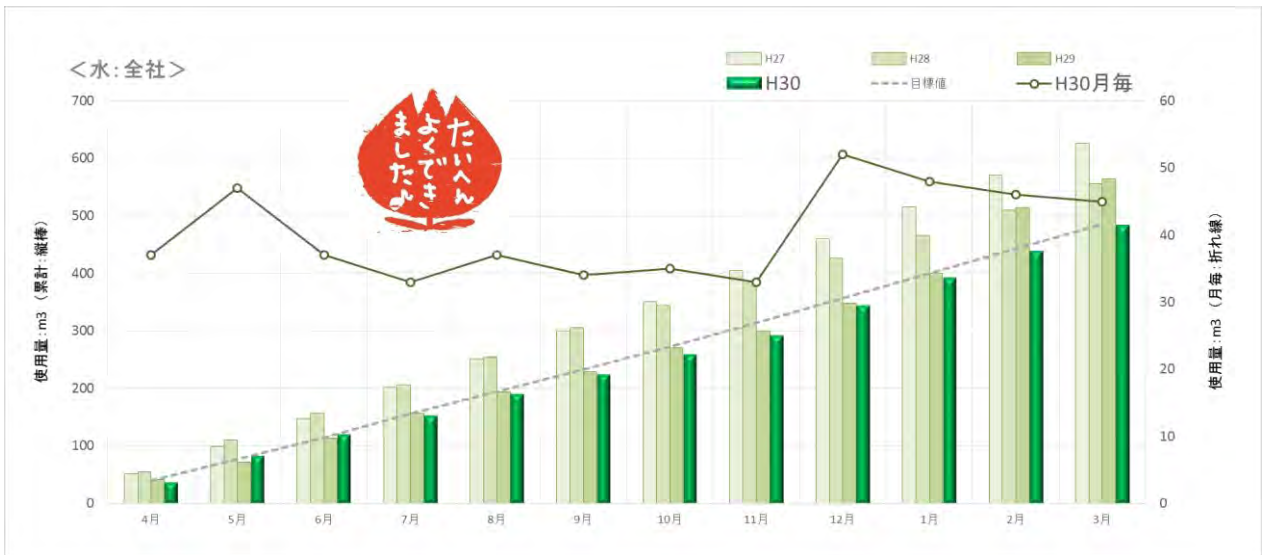
- 基準年度実績：3,103 kg
- 取組期間目標：1,984kg
- 取組期間実績：1,884kg
- 増減量：-1,219 kg
- 増減率：-39.3%

【評価コメント】

化学物質の少ない剥離施工に切り替えた結果、剥離汚泥の量を削減することができました。また、剥離剤を使用せず、半剥離剤を使うことで剥離汚水の量を減らすことが出来ました。産廃発生量は業務量に比例しますが「剥離汚水処理マニュアル」に基づき、回収すべき汚水と放流可能な排水を区別して、適切に処理しています。

■ 水使用量

【H30年度目標】 H27年度比22.4%削減
 【中期目標 (H28~32)】 H27年度比22.4%削減を維持



【取組結果】 (取組期間：H30.4~H31.3)

- 基準年度実績：626 m³
- 取組期間目標：486m³
- 取組期間実績：484 m³
- 増減量：-142 m³
- 増減率：-22.7%

【評価コメント】

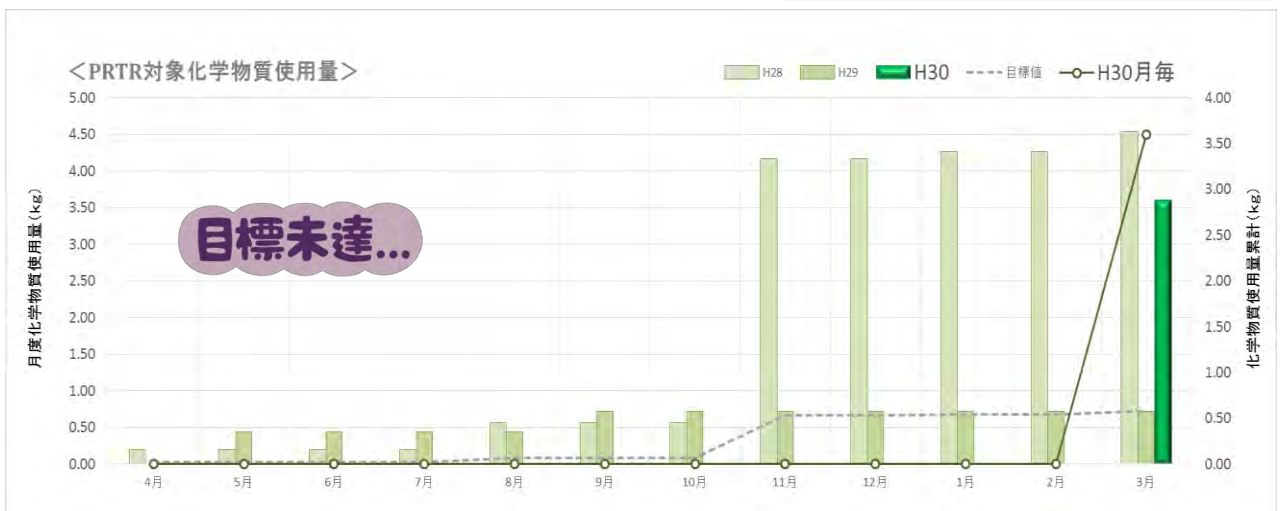
本社12.6%減、南陽39.7%減で、目標を達成することができました。業務量は増加していたが、洗濯物をまとめてするようにしたことや、コーヒーを作る回数を一日2回から1回に変更しました。営業所では蛇口パッキンの劣化により、使用量が増えたが早期発見で被害を最小限に抑えることができました。全体的には省資源の意識が全社員に浸透してきていると思います。

■ 化学物質使用量 (PRTR対象物質)

【H30年度目標】 基準年度比84%削減
 【中期目標 (H28~32)】 基準年度比84%削減を維持

PRTR (Pollutant Release and Transfer Register)
 : 化学物質排出移動量届出制度

有害性のある多種多様な化学物質が、どのような発生源から、どれくらい環境中に排出されたか、あるいは廃棄物に含まれて事業所の外に運び出されたかというデータを把握し、集計し、公表する仕組み



【取組結果】 (取組期間：H30.4~H31.3)

- 基準年度実績：4.5 kg
- 取組期間目標：0.7 kg
- 取組期間実績：3.6kg
- 増減量：-0.94 kg
- 増減率：-20.7%

【評価コメント】

清掃業務で使用している洗剤、ワックス、剥離剤を化学物質を含まない商品へ切替を行っているが、スポット剥離用の剥離剤を3月に購入してしまったため、目標を達成することができませんでした。現在のところ、代替製品がない。引き続き情報収集をして代替商品が出た時点で即時切替を考えています。

■ グリーン購入

【H30年度目標】グリーン購入率75%以上
 【中期目標（H28～32）】グリーン購入率80%以上



【取組結果】（取組期間：H30.4～H31.3）

- 取組期間目標：75%
- 取組期間実績：77%

【評価コメント】

消耗品はカタログを見て、グリーン購入を積極的に進めている結果、わずかではありますが、目標を超えることができました。昨年度と比較して、グリーン購入対象商品が増えてきているような気がします。後半低下してしまった理由は、新規施設の備品を購入（エコ対象外）したことによります。

ちゅとフレイクその2「SDGsについて」



世界を変えるための目標ってすごい壮大な目標だな。でも良く見てみると当たり前のこと言っているっぺ。
 エコアクション推進委員会の目標にも今回からSDGsを取り入れたからみてみっぺ

1 貧困をなくそう 	2 飢餓をゼロに 	3 すべての人に健康と福祉を 	4 質の高い教育をみんなに 	5 ジェンダー平等を実現しよう 	6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 	8 働きがいも経済成長も 	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 	10 人や国の不平等をなくそう 	11 住み続けられるまちづくりを 	12 つくる責任つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を 	14 海の豊かさを守ろう 	15 陸の豊かさを守ろう 	16 平和と公正をすべての人に 	17 パートナーシップで目標を達成しよう 	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 2030年に向けて世界が定めた「持続可能な開発目標」SDG



■ 製品・サービスの環境負荷削減に係る環境目標

1) 社員のスキルアップ

…スキルアップ研修会の実施

エービーエムは、経営理念として「Customer Delight（お客様感動）」を掲げ、社員の知識・意識・技術向上を目的とした研修・教育を積極的に実施しています。平成29年度から実施している新人研修会において、エコアクションの講義も行っています。

社是ならびに環境方針に掲げる「技術・知識の向上」や「社員のスキル向上により、業務の効率化を図る」ため、業務の区分ごとに実施回数を定め、計画的に研修会を開催しています。

【H30年度1人当たりの実施回数】（延べ実施回数）

- 警備課…2回（10回）
- 業務部…1回（12回）
- 設備 …1回（12回）
- その他の社員（指定管理総務・電話交換等）1回（2回）
- 新入社員研修 1回（4回）

毎年参加している「電話対応コンクール置賜地区大会」では残念ながら県大会には出場できませんでした。



研修会のあとは、参加者全員でお弁当を食べます。講師の幹部社員との交流も兼ねています。

2) 誤発報による緊急出動回数の削減 該当発生回数の把握&原因分析

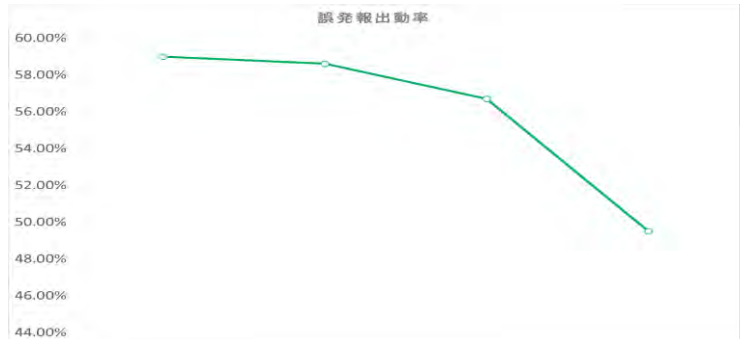
【取組結果】（取組期間：H30.4～H31.3）

- 取組期間目標：45%
- 取組期間実績：49.5%

誤発報による出動回数、出動率ともに大幅に改善が見られたものの、目標の45%にはわずかに到達できませんでした。

センサーによる誤作動を防ぐために点検を実施していますが、点検時には正常のため、出動回数を減らすことが難しいので、点検時はセンサーに汚れや剝がれなど無いかよく観察するように心がけます。

一方、契約施設での人為的なミス（警備開始、解除ミス）によるものが32%でお客様に使用方法を理解してもらうための取組を引き続き働きかけてまいります。



	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
誤発報出動回数	197回	215回	182回	159回
全出動回数（駐車場対応除く）	334回	367回	321回	276回
誤発報出動率	59.00%	58.60%	56.70%	49.50%

■ 地域の環境保全（山形エコアクション2.1対応項目）

【H30年度目標】会社周辺の清掃活動／環境保護団体の支援・協力

【中期目標（H28～32）】上記を継続的に実施



WakuWakuWorkで現役高校生に清掃指導

「地域の環境を保全する」ため毎月1回、会社周辺の清掃活動を実施しています。また、山形県地球温暖化防止活動推進センターの指定を受けている環境NPO「環境ネットやまがた」に協賛しています。その中で、H30年度は「家庭のアクション」に参加し、社員に広く周知し、約4割の社員が取り組み、30,456.99kgのCO₂を削減することができました。

指定管理施設周辺の清掃活動も実施し、また米沢市が参加した「チャレンジデー2018」においてこれまで「美しい山形・最上川フォーラム」が主催していた「スポーツゴミ拾い大会」を今回からエービーエム主催で実施し、参加チーム12チーム、45名で合計36Kgのゴミを拾うことができました。多くの社員が参加し、見事米沢市の勝利に貢献いたしました。

地域貢献活動として米沢商工会議所主催のWakuWakuWorkに今年も参加、現役高校生に清掃指導いたしました。

チャレンジデー2018
見事、取手市に勝利！



山形県	
米沢市	
よねざわし	
実施回数	3回目
人口	81,766人
参加者	44,988人
参加率	55.0%

VS

茨城県	
取手市	
とりでし	
実施回数	初実施
人口	107,963人
参加者	29,321人
参加率	27.2%

ちゅっせふれいぐその3 「家庭のアクション」チャレンジ結果について

従業員とその家族で『家庭のアクション』にチャレンジ！～夏の省エネ・節電編～
弊社実施期間：平成30年6月～9月（90日間）



順位	項目	1人1日当たりのCO ₂ 削減効果(g)	実施人数(従業員家族含む)	total(90日間)	割合(%)
1	エコドライブを行う。(例えば、発進時はふんわりアクセルでゆっくりスタートする、車間距離にゆとりをもって加速減速の少ない運転をする)※車1台1日当たりの削減量	717	254	16,390,620	53.8%
2	電化製品を買い替える時は省エネタイプのものを選ぶ。(電気冷蔵庫の場合)	205	200	3,690,000	12.1%
3	お風呂は間隔をあけずに入る。(追い焚きをなるべくしない)	85	206	1,575,900	5.2%
4	電気ポットを長時間使用しないときは電源プラグを抜く。	58	238	1,242,360	4.1%
5	太陽光発電パネルや木質バイオマス燃焼機器などの再生エネルギーを設置する。(太陽光発電パネル設置の場合 自己消費率4割)	895	13	1,047,150	3.4%
6	シャワーの使用を1分間短縮してみる。	79	138	981,180	3.2%
7	住宅の省エネリフォームをする。(内窓を付けた場合)	546	18	884,520	2.9%
8	冷房は、室温28℃を目安にする。	53	180	858,600	2.8%
9	エアコンは、必要な時だけつける。(1日1時間利用短縮)	33	275	816,750	2.7%
10	白熱電球は電球型蛍光灯やLEDランプに交換する。(LEDランプの場合)	48	168	725,760	2.4%
11	冷蔵庫の温度は適切に設定する。(温度設定を強から中に設定した場合)	33	233	692,010	2.3%
12	冷蔵庫にはものを詰めすぎないようにする。	23	236	488,520	1.6%
13	ジャー炊飯器での保温を控え、使わないときは電源プラグを抜く。	24	204	440,640	1.4%
14	テレビの画面は明るすぎないように調節する。(液晶の場合)	14	153	192,780	0.6%
15	エアコンのフィルターは月に1回か2回清掃する。	17	76	116,280	0.4%
16	冷蔵庫の開閉回数は少なくする。また、開閉時間は短くする。	5	230	103,500	0.3%
17	洗濯物はまとめて洗い、洗濯の回数を減らす。	3	246	66,420	0.2%
18	使用しない照明はこまめに消す。(蛍光灯の場合)	2	316	56,880	0.2%
19	部屋を片付けてから掃除機をかける。	2	245	44,100	0.1%
20	パソコンを使わない時は電源を切る。(ノート型の場合、1日1時間利用短縮)	2	239	43,020	0.1%
21	郵送にかかるエネルギーを少なくするよう、できる限り地元産の商品を選ぶ。	0	117	0	0.0%
22	早寝早起きを実践する。	0	159	0	0.0%
23	家族は、なるべくまとまって一部屋で過ごす。	0	157	0	0.0%
24	宅配便はなるべく1回で受け取るようにする。	0	125	0	0.0%
25	国民運動「COOL CHOICE(クールチョイス)」に賛同する。	0	175	0	0.0%

削減されたCO₂量 **30,456,990** g

今回の活動で削減したCO₂排出量を杉の植樹本数に換算すると、約2,175本になるっぺ。これはサッカーフィールド約1面分の広さに杉を植樹に相当だっぺ(※サッカーフィールド面積：7,140㎡) 目指せ東京ドーム(46,755㎡)だっぺ



4. 環境活動計画と取組結果 並びに次年度の取組内容



＜評価判定の目安＞
 ○…実施済。80以上の社員が取組んでいる。80点以上の満足度である。
 △…一部未実施。50～80%の社員が取組んでいる。50～80点ぐらいの満足度である。
 ×…未実施。50%未満の社員しか取組んでいない。50点未満の満足度である。(是正処置の対象)

環境経営 目標	活動・取組項目	活動の具体的内容 (どのように)	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	備考、是正処置 の必要性等	
二酸化炭素排出量 の削減	■消費電力の削減	■室温は、暖房期20℃、冷房期28℃で管理	○	○	○	○		
		■サーキュレーターを稼働させ、室内温度差をなくす	○	○	○	○		
		■使用していない部屋のエアコンはOFF	○	○	○	○		
		■定期的にエアコンのフィルターを清掃	○	○	○	○		
		■不要な照明は消灯	○	○	○	○		
		■クールビズの推進（機能性下着の着用）	○	○	△	△		
		■ウォームビズの推進（保温性の高い下着の着用）	△	△	○	○		
		■パソコンは省エネモードで使用	○	○	○	○		
		■トイレの暖房便座は夏期OFF（温水の温度設定は「低」）	○	○	△	△		
		■グリーンカーテン	○	○	△	△		
		■窓にすだれを垂らし、直射日光を防ぐ	○	○	△	△		
		■省エネ性能の高いエアコンへの入れ替え	×	×	×	×		
		■融雪ハルブの修理	△	△	△	△	降雪センサーによる適正使用	
	■融雪装置適正利用手順書の策定	○	○	○	○			
	■電力使用量の見える化推進（環境負荷データの掲示）	△	△	△	△			
	■ガソリン・軽油使用量の削減 ※製品・サービス関連目標	■エコドライブの教育研修					○	
		■エコドライブ自己評価を実施（チェック表による）	○	○	○	○		
		■燃費・走行距離の把握（車両日報の記入）	○	○	○	○		
■5000km（6ヶ月）ごとにオイル交換、10000km（1年）ごとにエレメント交換（ハイブリッド車は別途規定する）		○	○	○	○			
■適切な時期でのタイヤ交換		○	○	○	○	冬タイヤは11月1日から		
■適切な空気圧の維持		○	○	○	○			
■エコタイヤの導入		○	○	○	○			
■不要な荷物を乗せたままにしない		○	○	○	○			
■その他化石燃料の削減 (灯油・LPG)	■業務の効率化（車両運行ルートの管理）	○	○	○	○			
	■計画的な低燃費車両への入れ替え	△	△	△	△			
	■暖房温度は決められた温度以下で管理する。	○	○	○	○			
	■窓の内側に断熱材を貼り付ける	○	○	○	○			
	■ウォームビズの徹底（服装による省エネ推進）	○	○	○	○			
■必要最低限の温度で給湯（夏期は使用しない）	○	○	○	○				
■窓を二重サッシにする	×	×	×	×				

多くの計画がほぼ計画通り実施されました。昨年実施できなかったエコドライブの教育研修を実施いたしました。H30年度は社有車を燃費の良い軽自動車を新車で整備し、また、唯一残っていた軽油車両を環境負荷の少ないLPG車に交換いたしました。

昨年度から実施している「窓ガラスに緩衝材を貼り付け」について、H30年度は窓に直接貼り付けることで、より気密性が高まりました。

また夏場のグリーンカーテンについて、H30年度は「ぬるっば」を植えて、一応窓を覆うぐらい成長しましたが、茎が細くひ弱なグリーンカーテンになりました。

今後は窓の二重サッシ化や省エネタイプエアコンに入れ替えるなどの設備投資が必要と考えます。



頭でっかちな
グリーンカーテン(来年こそは！)

の 廃 棄 物 と 適 正 排 出 量 理	■一般廃棄物の削減 (リサイクルの推進)	■廃棄物置場の整理整頓	○	○	○	○	
		■不要な資料・カタログ等の辞退・返却	△	△	△	△	
		■コピー用紙削減(両面コピー・裏紙利用の徹底)	○	○	○	○	
		■一般廃棄物の排出量記録	○	○	○	○	
		■社内の整理整頓	○	○	○	○	
	■産業廃棄物の削減と 適正管理	■保管場所の管理(安全衛生状態も含む)	○	○	○	○	
		■汚泥の濃縮分離ならびに分離水の処理方法の検討と試行	○	○	○	○	
		■充電式乾電池への転換	○	○	○	○	
		■マニフェスト・契約書類の管理	○	○	○	○	
		■委託先の状況確認		○			
化 管 学 物 質	■対象化学物質の管理	■SDSの収集整理・対象製品・使用量の把握	○	○	○	○	
	■対象化学物質の削減	■対象化学物質含有量の少ない製品の選定	○	○	○	×	
	■清掃方法の改善	■化学物質を使用しない清掃手法の検討(情報収集)	○	○	○	○	
の 総 排 水 量 の 削 減	■水道使用量の削減	■「節水」の掲示	○	○	○	○	
		■蛇口元栓の調整(必要最小限の流量)	○	○	○	○	
		■地下水の適正利用基準の策定と遵守			○	○	積雪センサーの設置
		■その他節水対策機器に関する情報収集	○	○	○	○	
グ リ ン 購 入	■グリーン購入	■グリーン購入ネットワーク(GPN)認定商品(エコ商品)の選定	○	○	○	○	
		■事務消耗品のエコ商品購入率の把握	○	○	○	○	
		■車両・設備・機械等購入時のルール確立と実践					
(製品 自 主 設 定 項 目 の 進 捗)	■社員のスキルアップ	■資格取得者の増加	○	○	○	○	
		■社内研修会・勉強会の開催、テキスト参考書購入補助	○	○	○	○	
	■誤発報による緊急出動回数を 減らす	■機器点検の実施	○	○	○	○	
		■異常発報件数の把握	○	○	○	○	
山 形 E A 2 1 関 連	■環境保護団体への協力	■「NPO環境ネットやまがた」の入会(支援・協力)	○	○	○	○	
		■会社周辺の清掃活動	○	○	○		

不要なカタログの辞退について、出来るものから取り組みましたが、徹底までは出来ませんでした。最終処分場の視察として、有限会社厚生社の中山事業所を視察いたしました。対象化学物質の削減について、代替商品が無いため仕方なく購入したが、引き続き情報を収集して対象化学物質の使用しない商品への入れ替えを進めてまいります。

<次年度以降の取組の概要>

平成30年度未達成の項目については、原因を追究し早急に対策を講じてまいります。ガソリンなどの化石燃料使用量の削減については、ソフト面(社員教育)とハード面(施設の改善)の対策を引き続き講じてまいります。特に、施設の改善については、社員の取組だけでは、これまで以上の効果が期待できないため、積極的に改善を進めていけるように、経営側に働きかけてまいります。

ちよっせフレイクその4 「エコアクション大賞」について

今年度から家庭で出来るエコアイデアを募集し表彰するエコアクション大賞を実施いたしました。家庭で取り組まれているエコアイデアの中から優れたアイデアを選考し表彰いたしました。応募総数159点。



No.	勤務施設	氏名	エコアイデア	カテゴリー
36	本社 業務課	鹿野 兼一さん	家庭での生ゴミ(野菜くず)は堆肥にし、有機栽培を行っている(他にパルプ原料のボール紙、新聞紙等)	ゴミの削減
70	公立置賜総合病院	高橋 剛さん	浴室に水中ポンプ、壁面裏のボイラー・洗濯機にSWを設置し、風呂の残り湯を洗濯だけでなく家庭菜園にも使用(ポンプ設置前に比べ月約3t節約に成功)	節水
159	本社 総務	吉野 裕美さん	トレーにラップされた食品を買った際、キレイにラップを剥がし、そのラップで食品をくるみ冷凍する(商品名や消費期限が表示されているラベルが見えるようになる)	フードロス・ゴミの削減

5. 指定管理施設の環境負荷について



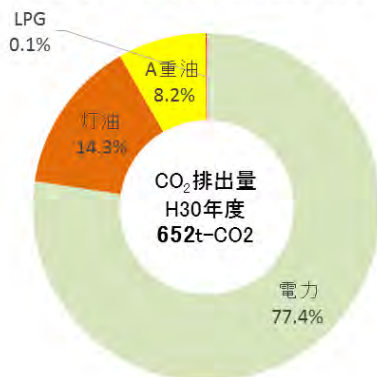
5-1. 環境負荷の現状(平成30年度環境負荷自己チェック結果(指定管理)より)

■ 二酸化炭素排出量

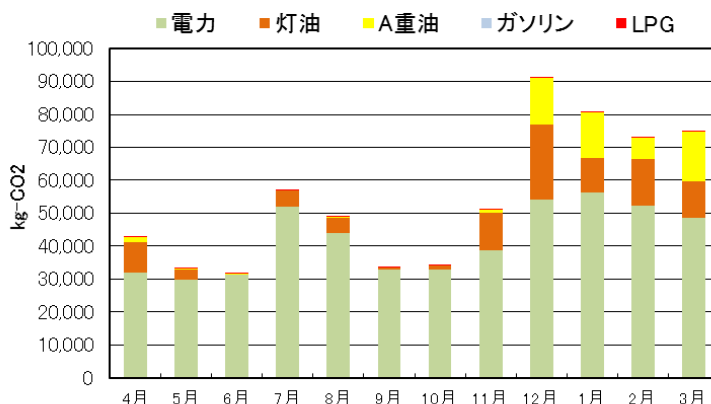
※電力使用に係る二酸化炭素排出係数については、H28年度東北電力(調整後:0.548)を用いています。

- 1) 指定管理施設における平成30年度のCO₂排出量は合計652,728kg-CO₂となっており、前年度比2.8%削減しました。これは平均的な一般家庭146軒分の排出量に相当します。(平成29年度1世帯あたりの平均年間排出量は4,480kg-CO₂: 出典: 温室効果ガスインベントリオフィス)
- 2) 指定管理施設から排出されるCO₂の77.4%は電力の使用に伴うもので505,221kg-CO₂(前年比0.1%増)、次いで灯油の消費に伴うものが14.3%、93,328kg-CO₂(前年比14.5%減)、A重油の消費に伴うものが8.2%、53,602kg-CO₂(前年比5.9%減)などとなっています。
- 3) 電力は事務所の照明、冷暖房の稼働で使用しています。また、灯油、A重油は空調機ボイラー運転、事務所の暖房用、LPGは事務所給湯用となっています。
- 4) 月別のCO₂発生量は7月、8月の夏期間と12月~3月の冬期間(降雪期)に多くなっています。これは、冷暖房用の空調機を使用する機会が増えること、融雪用の地下水の引き上げポンプ(市営体育館)などそして、主に暖房として灯油、A重油の消費量が増加するためです。
- 5) 以上のことから、特に電力使用量の削減が重点課題であるとなりますが、指定管理施設のように施設の利用によって電力使用量が大きく影響されるので、照明器具のLED化などによる省エネ機器への交換などを行政に提案し、実施していくことが必要であると思います。

<二酸化炭素の排出源(H30年度)>



<月別二酸化炭素排出量(H30年度)>



■ 廃棄物排出量

- 一般廃棄物: 可燃ごみ、紙類(資源回収対象)などは、行政の分別ルールに従い、それぞれ、量を把握した上で排出しています。可燃ごみが最も多く、4,693kg、次いで紙類(再生資源)が3,191kgとなっていました。特に米沢市の職員が入っている置賜総合文化センターは紙類の排出が2,431kgと約8割を占めています。リサイクル率は43.4%となっていました。
- 産業廃棄物: 総排出量の89%が汚泥でした。特に置賜総合文化センターの汚泥がそのうちの98%を占めています。次に多かったのは、廃蛍光灯で約1%でした。児童会館や文化会館はLED化が進行中なので排出量は少ないが、体育館はそのうち66kg(77.8%)を占めていました。文化センターで米沢市のゴミのルールに従って蛍光灯は産業廃棄物でなく、不燃ごみとして処分しています。

■ 総排水量(水使用量)

市営体育館、文化センターで融雪用に地下水を利用していますが、量は把握できません。水道は、すべて生活用水となります。総合計6,396m³使用しました。なお、放流先は全て下水となります。文化センターは稼働日が多く、また、米沢市職員が入っているため、水の使用量は多く、全体の7割を占める4,446m³となっております。

■ 化学物質使用量(購入量)

該当する物質について、本社・南陽営業所データに含まれています。

※各指定管理施設の環境活動レポートはこちらのQRコードから閲覧いただけます。



米沢市市民文化会館



米沢市児童会館



米沢市営体育館



置賜総合文化センター



南陽市勤労者総合福祉センター



6. 環境関連法規等の遵守状況、 訴訟等の有無



6-1. 適用となる環境関連法規等とその遵守状況

当社が法的義務を受ける環境関連法規の遵守状況は、平成30年4月に関連法規一覧にまとめ、確認した結果、違反はありませんでした。

- 環境基本法等：問題なし
- フロン排出抑制法：問題なし
- 水質汚濁防止法（貯油施設）：問題なし
- 浄化槽法：問題なし
- 下水道法：問題なし
- 自動車リサイクル法：問題なし
- 家電リサイクル法：問題なし

6-2. 法令違反・訴訟等の有無

行政からの環境関連法令違反の指摘・指導、環境面での訴訟は、創業以来ありません。

7. 代表者による見直しの結果



平成28年12月2日にエコアクション21の認証登録を受けて、初めての更新審査が行われ、大きな指摘事項はなく無事に終わることができました。また、2017ガイドラインへの移行も無事に終わり、ほっとしております。エコアクション21の取組は、エコアクション21推進委員会を中心に取組んでおり、平成30年度は「第22回環境コミュニケーション大賞優良賞」の受賞というとてもうれしいニュースがありました。

平成30年度の取組の結果について、環境負荷の大きいガソリン使用量が増加したのは、軽油車両からの入れ替えや、新規物件を獲得したことにより、平成29年度と比べ、走行距離が大幅に増えたためであると考えています。一方、冬期間暖房に使用する灯油の使用量は減少し、エコアクションに取組以来初めて目標を達成することができました。昨年度に比べ暖冬だったことが大きな要因と思いますが、平成29年度から取り組んでいる「窓へ緩衝材を貼り付け」たことで、暖房温度を適正に管理することができた結果だと思えます。しかしこれまでのソフト面だけの取組では限界が見えてきているので「窓の二重サッシ化」「省エネタイプのアエアコンへ入れ替え」「エコカーへの切り替え」などのハード面での対策も必要であると考えています。

新たな取組として、エービーエムの活動を家庭へ裾野を広げるべく取り組んだ「家庭のアクション」や、社員からエコアイデアを募集し、表彰する「エコアクション大賞」を行いました。社員の多くが参加し、エービーエムならではの取組が出来たのではと考えております。

平成30年度から全指定管理施設がエコアクション21に組み込まれ、施設環境管理責任者を中心とした実施体制のもと、各施設特色のある「環境掲示板」を作成するなど、取組が見られました。環境負荷面においても、CO₂の排出量削減されるなど、お客様の環境負荷削減に貢献することができました。平成31年度も引き続き、経営側としてしっかりと支援してまいります。

株式会社 エービーエム 代表取締役社長 赤間俊明





いざ参加！指定管理の意気込み！

環境コミュニケーションレポート「エコロジーVol24」より

いよいよ、今年度から対象から外されていた指定管理施設5施設（米沢市市民文化会館、米沢市児童会館、米沢市営体育館、置賜総合文化センター、南陽市勤労者総合福祉センター）がエコアクション21に組み込まれることになりました。そこで、各施設の責任者にエコアクション21に取り組むに当たっての意気込みやポイントなどをお聞きました。

◆米沢市市民文化会館 教間マネージャー

初年度の今年は基本項目の中から二酸化炭素排出量（電力・灯油）、廃棄物、グリーン購入について力を入れて取り組んでまいりたいと思います。こういった取組みが効果的かなど、様々なことにチャレンジし、楽しみながら積極的にエコアクション21に取り組んでまいります。そのために、改めてエコアクション21に対する理解を深め、スタッフ間においても知識や意識の共有を図れるように努力してまいります。

◆米沢市児童会館 加藤館長

児童会館は多くの利用者が来館される施設です。施設利用の妨げになることなく、スタッフが出来ることから取組を行います。一般廃棄物の削減や、グリーン商品の購入に取組み、これまで児童会館で行ってきた、「エコキャップ」活動によるCO₂削減を継続強化してまいります。

◆米沢市営体育館 手塚マネージャー

今までも節水、節電には心がけていますが、これまで以上にスタッフはもちろんですが、利用者の方にも協力を頂けるように呼びかけていきたいと思ひます。また、ゴミの排出量削減についてもゴミの持ち帰りに協力いただけるよう貼紙などで周知していきたいと思ひます。

◆置賜総合文化センター 加藤マネージャー

平成30年度の目標は「照明のLED化推進とゴミ箱の削減」です。照明改修時にはLEDに交換改修いたします。共有フロアのゴミ箱の数は燃えるゴミ用10個、燃えないゴミ用2個、プラゴミ用8個、ペットボトル用8個、ビン・缶用7個の合計35個あります。施設の利用者にはゴミの持ち帰りをお願いしていますので、市と協議しながらゴミ箱の配置の工夫とゴミ箱削減に向けて取り組んでまいります。

◆南陽市勤労者総合福祉センター 五十嵐南陽営業所所長

ワトワセンターの環境負荷の現状としては、冷暖房の空調設備の燃料として使用している灯油が二酸化炭素排出量の大部分を占めていることがわかりました。利用件数に応じて各エネルギーの使用量が左右されるため、数値の削減を達成し続けていくのは厳しいかもしれませんが、まずは無駄な部分を着実に削減していくよう取り組んでまいります。

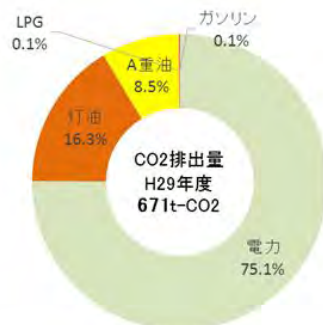
指定管理施設の現地視察を実施！

環境コミュニケーションレポート「エコロジーVol27」より

平成30年度からエービーエムのエコアクション21の取組に5つの指定管理施設（米沢市市民文化会館・米沢市児童会館・米沢市営体育館・置賜総合文化センター・南陽市勤労者総合福祉センター）が含まれ、これでエービーエム全体でエコアクション21に取り組むことになりました。指定管理施設は、本社や南陽と違い、二酸化炭素排出量の割合で大きく占めるのは電力で75.1%だったので、この電力使用量を削減することが重点課題となっています。また、ゴミの排出量も4,598kgとなっており、本社や南陽営業所の約10倍近くあり、利用者へのゴミの持ち帰りなども課題となっております。

そこで、先月のEA21委員会では、指定管理施設であり、EA21委員会メンバーである手塚マネージャーが勤務する米沢市営体育館を現地視察いたしました。

現地視察終えて、手塚マネージャーにヒヤリングをしたところ、「利用者があるので、なかなか節電も、ゴミの削減も難しいが、これから施設の取組をしっかりとアピールすることで、利用者の協力を得て、エコアクション21を成功させていきたい」との強い意気込みをいただきました。この視察は順次行ってまいりますので、よろしくお願ひいたします。



<指定管理施設5施設の排出源（H29）>





環境コミュニケーション大賞優良賞受賞!

環境コミュニケーションレポート「エーコロジ- Vol133」より

平成30年5月に発行した、エービーエム環境活動レポートが、環境省・一般財団法人地球・人間フォーラム主催 第22回環境コミュニケーション大賞 優良賞を受賞しました。この環境コミュニケーション大賞というのは、優れた環境報告書等や環境活動レポートを表彰することにより、事業者等の環境コミュニケーションへの取り組みを促進するとともに、その質の向上を図ることを目的とする表彰制度で、第22回は、環境報告書部門196点、環境経営レポート部門118点、合わせて314点の応募がありました。今回環境報告大賞を受賞したのは、あの「トヨタ自動車株式会社」で大企業も真剣に環境に取り組まなければ、お客様や株主から信頼されない時代になっているのが、伝わってきました。環境経営レポート部門の大賞は「来ハトメ工業株式会社」で、こちらの会社は過去にも優秀賞や大賞を受賞しており、手作り感とオリジナル性が随所に見られる創意工夫された環境レポートでした。今回初めて応募したレポートが賞を受賞したことは大変うれしいことですが、まだまだ課題は沢山あり、逆に伸びしろはいっぱいあると受け止め、次回はもっと上の賞がもらえるように取り組んでまいります。



第22回優良賞
環境活動レポート

第22回環境大臣賞
来ハトメ工業様環境活動レポート

What's A-cology (えーころじー) ?



環境省が定めた「エコアクション21」という環境マネジメントシステムを導入し、その認証登録をいたしました。全社員がこの「エコアクション21」への理解を深め、より楽しくエコ活動を進めていただけるように、環境活動情報をこの「A-cology (えーころじー)」で発信してまいります。このA-cologyは管理している指定管理施設などから発行される広報誌などの裏紙を再利用して発行しております。



代表取締役社長

赤間俊明のSDGs！

昨年度、「第22回環境コミュニケーション大賞優良賞を受賞し、環境への取組が推進委員会の努力によって、社員全体に浸透していることを実感し、経営基盤の大きな柱になったことに経営者として大きな自信と大きな力をいただきました。



目標1 環境行動指針5「化学物質の使用量を削減」に対して、業務の効率化を図ります。

具体的には、清掃業務において究極の環境対応型洗浄液である「強アルカリイオン電解水」の生成、使用します。

目標2 環境行動指針8「地域の環境保全活動に貢献する」に対して、指定管理施設や各施設で実施している清掃活動に自ら参加します。



強アルカリイオン電解水生成機



A-cology

号外

H30推進委員のSDGs!

環境管理責任者 田口浩之



環境管理責任者として、会社の環境面での課題を把握し、会社へ改善を働きかけてまいります。

副環境管理責任者 遠藤雅之



社員280名1人1人がエコアクション、SDGsを理解し、積極的な環境負荷削減の意識付けを徹底していく為に、様々な角度からエコに対する情報を全社員に発信していきます。

副環境管理責任者 五十嵐久人



社員1人1人が自発的にエコアクション21に取り組むことができるような環境づくりを推進していきます。同時に全員にSDGsのどれか1項目だけでも意識し、行動してもらえるような体制を構築していきます。

環境事務局 佐久間水里



グリーン商品の紹介とその使用方法と分別方法の周知を図ることで、ゴミの削減に努めたいと思います。

環境事務局 嶋津優美



ただ「減らすこと」だけを目指をするのではなく、社員1人1人が「何のためにその活動を行うのか」「自分がすべきこと、できることは何か」と、意識しながら活動してもらえるような環境づくりに取り組んで行きたいと思います。



車両管理 遠藤千尋



車両の燃費やエコ運転についての意識を再確認し、1人1人アイドリングストップを心がけ、CO₂排出を削減。また誤発報などによる出勤回数も減らせるように取り組みたいと思います。

車両管理 清水達謙



昨年よりも燃費の向上を目指します。エコドライブを意識し、各人無理のない範囲での向上を目指し、取り組んで行きたいと思います。

省エネルギー 鈴木正行



前年度、目標にした洗濯機の使用状況(水道の使用状況)について、記録を取れなかったため、再挑戦したいと思います。

省エネルギー 嶋貫穂乃香



電気の使用量を減らすこと、なるべくゴミの分別をし、より良い環境を作ることです。エコというのは1人1人の意識がないと出来ません。そこで皆がどのようにすれば取り組んでいけるのか、しっかり考えて行きたいと思います。

廃棄物管理 追木恵美



ゴミの分別を徹底するために、勉強会などを行い、1人1人のゴミ分別に対する意識付けを図って行きたいと思います。

廃棄物管理 松本次保



食品ロスをなくしたいと思います。スーパーなどで買ってきても食べきれないで、つい捨ててしまうことが多々あるので、もったいないと思うようになりました。出来るだけ食品を無駄にしないよう取り組みたいです。



地域貢献・環境美化・5S 手塚直利



本社及び指定管理施設で行っている施設周辺の清掃活動の継続と外部団体で開催しているボランティア活動へ積極的に参加し、住みやすいきれいな街を目指して行きたいと思います。

地域貢献・環境美化・5S 五十嵐俊亮



環境美化活動に参加する人の意識を会社の参加する活動だから取り組むのではなく、綺麗な街にするため、気持ちよい環境を作るために参加するという意識に変えて行きたいです。

指定管理施設のSDGs!

米沢市市民文化会館 数間 淳祐



消費電力削減に力を入れて行くために、館内掲示物による利用者様への周知やスタッフ間での削減のための知識や意識の共有を図り、積極的に取り組んで行きたいと思ひます。また、二酸化炭素排出量削減のために、その他様々な取組みを行って行きたいと思ひます。

米沢市児童会館 加藤 俊彦



一般廃棄物の分別によるリサイクル率の向上や節電等による二酸化炭素排出量削減、エコキャップリサイクル活動の継続を重点的に行っていきたいと思ひます。

がんばれよ!



米沢市市民文化会館キャラクター「みっぺ君」

米沢市営体育館 手塚 直利



今年度は、地球温暖化対策として館内の蛍光灯をLEDへ切り替えることにより、二酸化炭素排出量を削減していきたくて思ひます。

置賜総合文化センター 加藤 恵美子



照明のLED化推進とリサイクル率の向上を図るため、照明改修時には、LEDに交換改修します。また利用者様がゴミの分別がしやすいようにゴミ箱の配置の工夫を行い、分別の徹底を行いたいと思ひます。ペットボトルを縮めて捨てる呼びかけを行うなどゴミの容量を減らし、ゴミ袋の削減を行います。

南陽市

勤労者総合福祉センター 五十嵐 久人



環境掲示板を活用し、様々な情報をワトワセンターから発信していきます。新たな取り組みとしてプルタブ回収などを実施したいと考えています。利用の皆様を通じ、地域全体の環境負荷削減に寄与していただけるようなワトワセンター発信型エコアクション21の活動を行っていきます。

そういえば...



イービーエムの管理する指定管理施設は平成30年度からPPSであるサミットエネルギーとグリーン電力を20%供給する契約を締結いたしました。これまで施設の規模でグリーン電力供給いただけなかった米沢市児童会館もグリーン電力供給先になりました。



環境コミュニケーション大賞優良賞



★安全衛生面で配慮された職場は作業効率も働く人のモチベーションも高く、環境にもやさしい職場です★

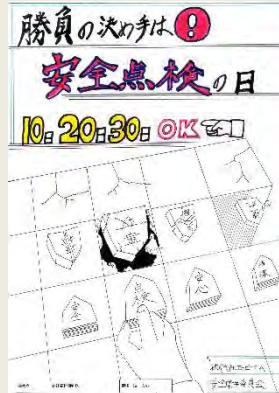
「安全衛生ポスターの部」



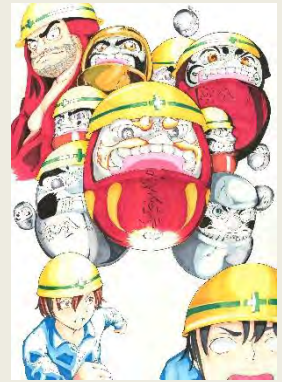
最優秀賞
米沢市市民文化会館勤務
鈴木 小百合さん



優秀賞 管制本部勤務 遠藤千尋さん



優秀賞 本社業務課 蓮沼誠さん



優秀賞 小森マシナリー勤務
高橋宏太さん

今年も力作が
揃いました

「安全衛生標語・川柳の部」

平成30年度安全衛生標語
会長賞 大沼米沢店勤務 青木仁一さん
「ゼロ災害 みんなの願いと 家族の笑顔」

平成30年度 川柳
社長賞 米沢市立病院勤務 村上 健寿さん
「背がかゆい むかし妻の手 いま柱」

「安全衛生論文の部」

平成30年度安全衛生論文
最優秀賞 米沢市立病院勤務 佐藤 定良さん 「労働災害防止について」



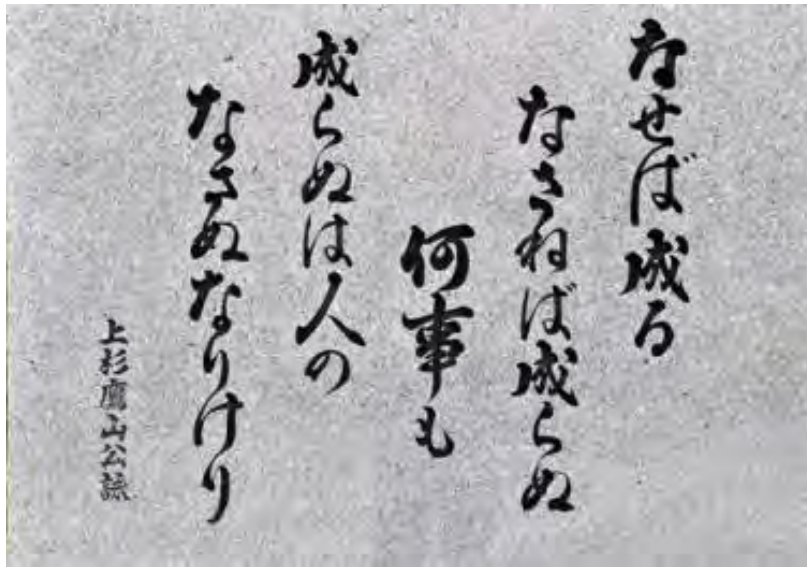
安全衛生委員会発行 セーフティファースト

HPでは過去の広報誌
「セーフティファースト」公開中
<http://y-abm.co.jp>
フェイスブックでも情報発信中

イイネ!!



安全も衛生も環境も・・・「三方良し」



この環境活動レポートは、ご希望の方に差し上げています。
 ご希望の方は、本社窓口でお申し出いただくか、下記にご連絡下さい。
 弊社HP (<http://www.y-abm.co.jp/>)、エコアクション21中央事務局
 のHP (<http://www.ea21.jp/>)でもご覧いただけます。

〒992-0003 山形県米沢市窪田町窪田584-2
 TEL0238-37-5733 FAX0238-37-2822
 Email : sale@y-abm.co.jp

